

## 審判関係マニュアル

### 【審判業務の流れ】

- ・各コートに置かれているスコアシートを利用する
- ・シャトル交換はコートサイドのシャトルを利用する
- ・勝者サインはさせず、スコアシートの勝者側を大きく○で囲み、勝者に確認してもらう
- ・本部への報告は簡素化し、本部役員にスコアシートを見せて確認してもらう（口頭で行わない）
- ・審判業務終了後は、必ず手洗い、うがいをする

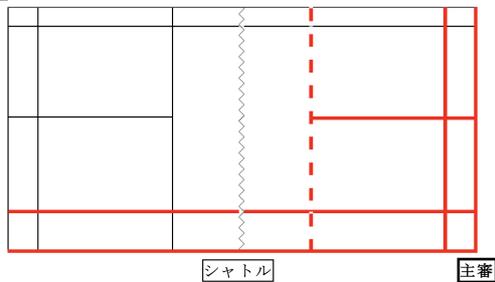
※シングルスについては、3 2出しまでは2名で審判を行う。1 6出し以降は3名（主審1名、線審2名）で審判を行う。3名で審判をするため、タイムテーブルで1 2：0 5以降に試合のある選手は審判を手伝ってもらいます。指示があるまで帰らないように注意下さい。

### 【2 審制の主審、線審の業務】

#### 1. 太線のジャッジをする

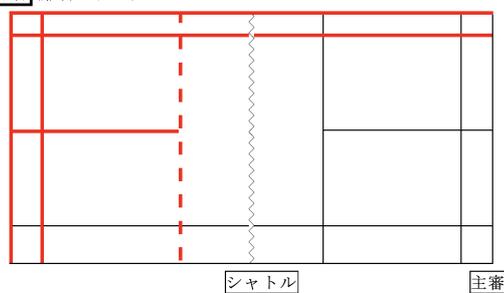
主審

線審(兼得点表示)



線審(兼得点表示)

線審(兼得点表示)



- ・ショートサービスラインは、明らかに判定できる場合にのみ、イン・アウトのコールをする。判断がつかない場合はレットとする。
- ・判定をやすくするため、イスを使用せず、立った状態で審判を行う。
- ・主審が判断できないことが生じた場合は、フロアに待機している審判部の教員に報告に行く。

#### 2. 主審はフォルト等の判定をする

- ・サービス時のシャトルの高さ(1 1 5 c m以下)の判定も主審がする。ネットタッチ等ネット周りのフォルトは、したのかしていないのか判断がつかない場合はとらない。

#### 3. 主審と線審はしっかり連携をする。

- ・距離が離れていることに加え、マスク着用により、声が届きにくい状態になっている。
- ・モップ掛けの必要がある場合は、線審が行う。

### 【選手の試合の流れ】

#### 1. 握手はしない

#### 2. シャトルの扱いは極力ラケットで行う。(サービスを除く)

#### 3. シャトル交換は主審の許可を得た上で、コートサイドに置かれているシャトルを使用する。使用済みのシャトルは、筒に入れる。

#### 4. コートサイドの飲み物かごは直接手で触れないようにし、チェンジエンス時はかごを運ばない。

#### 5. 勝者サインはせず、主審がかざすスコアシートを目視して確認する。間違っていたら、指摘して正しく直してもらう。主審が勝者へのスコアシート提示をせずにコートを離れた場合は、本部まで報告に行き、主審立ち会いのもと、確認作業をする。